

## 660回を超える囲碁講座 ～「育成市民大学」の取組～



事務局の石井實さん

川崎区にあるスターブル藤崎の集会所には毎週土曜日の9時過ぎから囲碁を楽しむメンバー（年齢も3歳から87歳まで）が集まっています。5月に、事務局の石井實さんにお話を伺いました。取材で訪ねた時は、ホワイトボードに「通算661回」、「日本の伝統文化『囲碁』覚えるのは子どものときに。一生忘れない『囲碁』自分の宝だ」と書かれていました。

かつて、川中島小学校や川中島中学校のPTA会長も務めており、子どもたちの休日の過ごし方をどうしたらよいかと商店街のみなさんと相談したそうです。2002年4月から文部科学省の学習指導要領の教育「ゆとり教育」の助けにと、囲碁講座を開設しました。

開設当時は、碁盤も碁石もなかったので、牛乳キャップのフタを丸く切り取って碁石をつくったそうです。黒石は、黒く色を塗って作ったと懐かしそうに話していました。今までにも多くの小学校のクラブ活動や中学校の部活動、市民祭りなどで囲碁の啓発を進めてきました。昨年度は、川中島小学校のわくわく広場や、川中島中学校の部活動で囲碁教室を行いました。



## 》》》》 棋力認定状の授与 <<<<<



石井さんは、「学校囲碁指導員」講習会を受けて、2000年に「指導員証」取得しました。日本棋院で講習を受けて、棋力を認定する資格も取りました。年に数回、認定状を発行するための囲碁教室を開催しています。今回は、8月1日(土)です。



初心者から九路盤からはじめ、十三路盤、十九路盤と上級へ進んでいきます。多くの人が、認定状をもらえることを励みとして囲碁を楽しんでいます。

石井さんは、小学生や中学生と関わるので、常に筋力トレーニングを欠かさず行っています。自転車に乗るのも日頃から力をつけていないと危ないので、健康に充分配慮して健康管理に余念がありません。

現在、定年まで勤めた会社のOB会会長も務めています。毎年発行する会報のために、自宅から近くの川崎市立労働会館（サンピアンかわさき）へ行って、健康に関する新聞記事を集めることを日課としているそうです。